

## 第8回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年12月14日（金）午後2時～同5時20分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋  
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信  
<総務理事> 住友雅人  
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、  
佐藤田鶴子、平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、  
恵比須繁之、宮崎 隆、栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会  
<準備委員長> 伊藤公一
- 欠席者 □日本歯科総合研究機構  
<研究部長> 石井拓男

[議長 江藤会長]

### 1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

### 2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

### 3. 報 告

#### 1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

□一般会務報告（平成19年11月16日～12月13日）

□第7回常任理事会会議録（平成19年11月16日開催）

#### 2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、準備状況報告がなされた。

#### 3) 国際歯科研究学会日本部会（JADR）理事会報告

栗原常任理事から、次の資料に基づき報告がなされた。

□2007年度第4回JADR理事会日程（2007年11月16日開催）

4) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会計収支計算書（平成19年4月1日～平成19年11月30日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成19年4月1日～平成19年11月30日）

5) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

黒崎副会長から、中医協における平成20年度診療報酬改定に関わる検討項目のうち、歯科関連の項目について資料に基づき報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

住友総務理事から、標記重点計画に関連し、12月7日に開催された第2回歯科医療技術革新推進協議会について報告がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

なし。

(4) 専門医制度の確立

なし。

(5) 国際交流の推進

なし。

6) 医道審議会医道分科会診療科名標榜部会報告

住友総務理事から、標記部会の審議状況について資料を基に報告がなされた。

7) 食育推進事業への学術支援依頼について

住友総務理事から、先般日歯より依頼のあった標記事業に対する本学会の対応について、12月12日付を以って日歯宛に回答した文書をもとに報告がなされた。

8) 会長報告  
なし。

9) その他  
なし。

#### 4. 協 議

##### 1) 日本歯科医学会規則の一部改正

住友総務理事から、第 78 回評議員会において日本口腔病理学会ならびに日本接着歯学会の本学会専門分科会への加入が承認されたことに伴う、標記規則の一部改正について、第 79 回評議員会に標記議案を提案したい旨説明がなされ、これを全会承認。理事会の議を経て、同評議員会に「日本歯科医学会規則の一部改正」を上程することを決定した。

##### 2) 平成 20 年度事業計画について

住友総務理事から、平成 20 年度事業計画について諮られ、文言に一部修正を加え、原案を基本的に全会承認した。

##### 3) 平成 20 年度学会会計収支予算について

高木常任理事から、標記予算（案）について資料に基づき説明がなされ、原案どおり全会承認した。

ただし、今後さらに細かな調整が加わる可能性もあることから、継続審議とした。

##### 4) 平成 20 年度第 21 回日本歯科医学会学術大会会計収支予算について

高木常任理事から、標記予算（案）について資料に基づき説明がなされ、原案どおり全会承認した。

ただし、今後さらに細かな調整が加わる可能性もあることから、継続審議とした。

##### 5) 学会第 79 回評議員会の開催について

住友総務理事から、標記評議員会の開催について、日程（案）を基に諮られ、原案どおり 1 月 21 日（月）午後 2 時より開催することを決定した。

また、同評議員会で平成19年度日本歯科医学会会長賞授賞式を執り行うことも併せて決定した。

## 6) 重点計画の推進

### (1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

#### ①「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」に関する検討会報告書

黒崎副会長から、標記検討会より提出された「歯科疾患の総合的管理に関する基本的考え方」ならびに「高齢者の口腔機能の評価と管理の方法に関する基本的考え方」に関わる報告書の取り扱いについて諮られ、協議の結果、全会これを承認した。

なお、一部文言の修正について指摘がなされたが、厚生労働省および担当班長等に確認の上、黒崎座長一任で調整することとした。

#### ②「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」（厚生労働省）の報告について

江藤会長から、本学会選出委員として江藤会長が出席している標記検討会について、資料に基づき報告がなされた。

また、標記検討会の設置に関連し、本学会内に設置予定の「歯科診療問題調査研究プロジェクト会議」において、標記検討会の定める方向性に基づき、本学会専門分科会ならびに認定分科会が作成中の各種ガイドラインおよびマニュアル等を整備したい旨提案がなされ、これを全会承認した。

#### ③「国立大学附属病院感染対策協議会作成ガイドライン」発行に伴う対応について

黒崎副会長から、標記ガイドライン発行に伴う対応について諮られ、協議の結果、同ガイドラインの内容を佐藤常任理事ならびに栗原常任理事が精査し、黒崎副会長のもと意見をとりまとめた上で回答することとした。

### (2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長から、標記重点計画に関連し、9月27日に開催された「医療機器産業政策の推進に係る懇談会（厚生労働省）」について、資料

に基づき報告がなされた。

また、同懇談会の議題である平成 20 年度版医療機器産業ビジョンの対象範囲として「医療機器のうち、歯科特有のもの」が加えられたことから、同ビジョンに掲載すべき具体例について意見が求められ、継続審議することとした。

### (3) 学会機構改革の推進

- ▶ 専門分科会資格審査委員会答申書に付記された提言の取り扱いについて

荒木常任理事から、標記提言の取り扱いについて諮られ、各提言の対応について項目を追って提案がなされ、これを全会承認した。

また、これに伴い、本学会規則および専門分科会承認基準ならびに認定分科会承認基準の一部改正が必要となることから、その改正案について資料に基づき説明がなされ、原案を全会承認した。

### (4) 専門医制度の確立

- ▶ 歯科医師の専門性に関する資格及び資格認定団体（日本歯科放射線学会）に対する回答について

住友総務理事から、厚生労働省医政局総務課からの意見聴取事項である標記について諮られ、同学会の専門医広告に係る申請については、認定医・専門医制協議会の審議結果を受け「可」とする旨すでに決定していること（平成 18 年度第 7 回常任理事会）、またその後、厚生労働省指導のもと申請資格名を改めた経緯等が説明された。

これを踏まえ、厚生労働省に対し、同学会の申請を「可」とする回答をすることで全会承認した。

また、江里口常任理事より、同資格名について第 18 回日歯常務理事会（12 月 13 日開催）で協議した結果、継続審議となった旨が報告されたことを受け、回答の時期については、日歯の審議状況を勘案し、対応することとした。

団体名：日本歯科放射線学会

資格名：歯科放射線科専門医

### (5) 国際交流の推進

- ▶ 日中歯科医学大会 2008（仮称）開催に伴う現地視察・事前打合せ会

への関係者の派遣について

江藤会長から、標記について諮られ、原案どおり決定した。

また、江藤会長より、現地での事前打合せには、日中間の過去の経緯や、本学会組織の継続性ある事業に鑑み、事務局を同行させることが諮られ、提案どおり決定した。

□派遣期間：平成20年1月26日（土）～31日（木）

□派遣先：中華口腔医学会（北京医科大学口腔医学院）

（中国・北京）

西安第四軍医医科大学口腔医学院

（中国・西安）

□派遣者：江藤会長

諏訪文彦（準備委員会委員）

方 一如（準備委員会委員）

## 7) 事業計画の推進

### (1) 学会第4回理事会の開催について

住友総務理事から、標記理事会の開催について、日程（案）を基に諮られ、原案どおり承認された。

### (2) 第22回日本歯科医学会学術大会の開催について

住友総務理事から、標記学術大会の開催について諮られ、前回の常任理事会の審議結果に基づき主幹校を募集したところ、3校から立候補の表明があった旨、資料に基づき報告がなされた。

この立候補を受け、主幹校の選定方法について諮られ、協議の結果、候補校に対し選考資料となる開催概要案の提出を求め、その提出資料を基に、次回常任理事会において主幹校の選考を行うこととした。

### (3) 平成19年度プロジェクト研究 研究者の選考結果について

住友総務理事から、標記研究事業の課題選考の結果について、指名された研究学会および研究費の支給額等の選考経緯を含め縷々説明がなされ、原案どおり全会承認した。

### (4) 「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」委員の委嘱について

住友総務理事から、厚生労働省より要請のあった標記委員の委嘱について諮られ、要請どおり江藤会長が就任することで全会承認した。

なお、この件については、すでに回答が済んでいることを確認した。

(5) 「病院歯科」という新しい専門学会とその体制整備に向けた委員会の設置依頼について

住友総務理事から、標記依頼事項への対応について諮られ、江藤会長より、日本病院歯科（口腔外科）協議会ほか2団体からの依頼文書に基づき、本学会への依頼に至る経緯等が説明された。

これを受け、歯科医療体制における病院歯科の重要性に鑑み、その位置付けについて具体的に検討する必要から、本学会内に「歯科医療体制における病院歯科の在り方に関する検討会（仮称）」を設置する方向で継続審議することとした。

なお、日本病院歯科（口腔外科）協議会からの依頼事項のひとつである専門学会の設置に関しては、本学会としては関与しかねる旨、すでに回答済みであるとの説明がなされた。

(6) 日本歯科放射線学会が主催する国際学会への助成金交付について

住友総務理事から、標記助成金の交付について諮られ、本学会補助金交付基準ならびにその内規に規定の参加地域ならびに参加国数等に照らし協議した結果、助成金額を次のとおり決定した。

□名 称：第7回アジア口腔顎顔面放射線学会議

□助成金額：90万円

(7) 日本学術会議 臨床系歯学分科会主催公開シンポジウムの共催依頼について

住友総務理事から、標記シンポジウムの共催について諮られ、協議の結果、同シンポジウムの共催開催および助成金の支給については見送り、本学会としては後援することが適当であると判断した。

(8) 第4回アジア口臭学会への後援について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の貸与を承認した。

○依頼元：東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野  
教授 川口陽子

(9) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

8) その他

次回、第9回常任理事会を1月15日（火）午後1時より、また第4回理事会を同日午後3時より開催することを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。